

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <b>都整-17 受託設計・工事監理事業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	予算外 受託設計・工事監理事業					
		予算外 技術協力					
主管課	道路整備課	関連課	世界遺産登録推進担当・産業振興課・文化財課他15課				
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上及び経費削減						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	0千円	0千円	0千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	0千円	0千円	0千円			
	人員配置数	1.1人	1.1人	0.9人			
	人 件 費	10,315千円	11,058千円	8,771千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	10,315千円	11,058千円	8,771千円			
	市民1人当 りの経費	58円	63円	50円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※依頼内容に対する理解度が低く、その調整に時間を要する案件や樹林管理等の実施時期に制約のある案件などのため、実施時期が年度後半に集中し、その処理・対応に苦慮した。 ※次年度予算の概算見積もりは、各課からの依頼が一定時期に集中することから、その処理・対応に苦慮した。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※建設工事施工取扱規程の対象とならない修繕費や調査委託などの各種直接発注案件や随意契約については、極力原課対応を要請した。 ※委任工事については、他課の協力を得て実施したことから、予定された全ての案件が実施できた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※通常業務に携わりながら、他部署の技術的な相談に応じており、十分な対応が図れない状況にある。 ※他課の予算の概算見積もり依頼時期の平準化を図る必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※道路整備事業においては、都市再生整備事業(平成17から22年度、鎌倉駅・大船駅周辺地区、道路整備事業費28億)を展開しており、他部署からの委任工事では腰越漁港改修整備事業(平成19～24年度、事業費20億円)、史跡永福寺跡復元事業(平成18～23年度、事業費12億円)などの大きなプロジェクトも展開している。これらの事業と本来の道路整備事業を効率的に、また、より柔軟に対応するため、受注設計・工事監理を専門に行う担当の創設、外注システムの確立及び他部署他課での対応体制の確立などを検討する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	全庁的な組織の編成の改変し、執行体制の整備を図る。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	組織の改変と執行体制の整備を図り、円滑な業務の執行を図る。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		